

第 4 回市政まなび舎 グループワークまとめ

当日は、経営企画課からの説明、松本教授の講義ののち、5～6人1グループでのワークショップを行いました。テーマは「リニモの役割」です。

リニモの役割

グループA



リニモのイメージを各自書き出した。市内在住者と市外の人、若い人と年配の人で長久手のイメージが違うことがわかった。リニモの利用を促進して、環境に優しいまちづくりにつながれば。また、リニモを利用する人々の交流の場になればと思う。

グループB



- ・リニモの課題…環境整備（駅周辺の汚さ）がある。香流川を整備したり、改札付近をきれいにすれば魅力アップにつながるのでは。また、リニモ車内の座席も汚れていることが多い。
- ・魅力アップ…課題をクリアにすることや、住宅を増やして乗客数を増やすこと
- ・活用…manaca などの I C カード導入が課題。乗り換え時に不便。休日や高齢者・子供向けの割引制度導入、N-バスとの連携
- ・財政…交通弱者を救うために、赤字でもよしとする。

グループC



いいところ…日本唯一の乗り物。これをたくさんの人に周知するために、PRをとにか
くする。もっと乗っていただくために

- ・イベント（アーティストとコラボ・ミステリーツアー・周辺のお店で割引）を組む。
- ・利用者へのポイント制を導入する。
- ・モリコロパークを利用した方は帰りは無料にする など

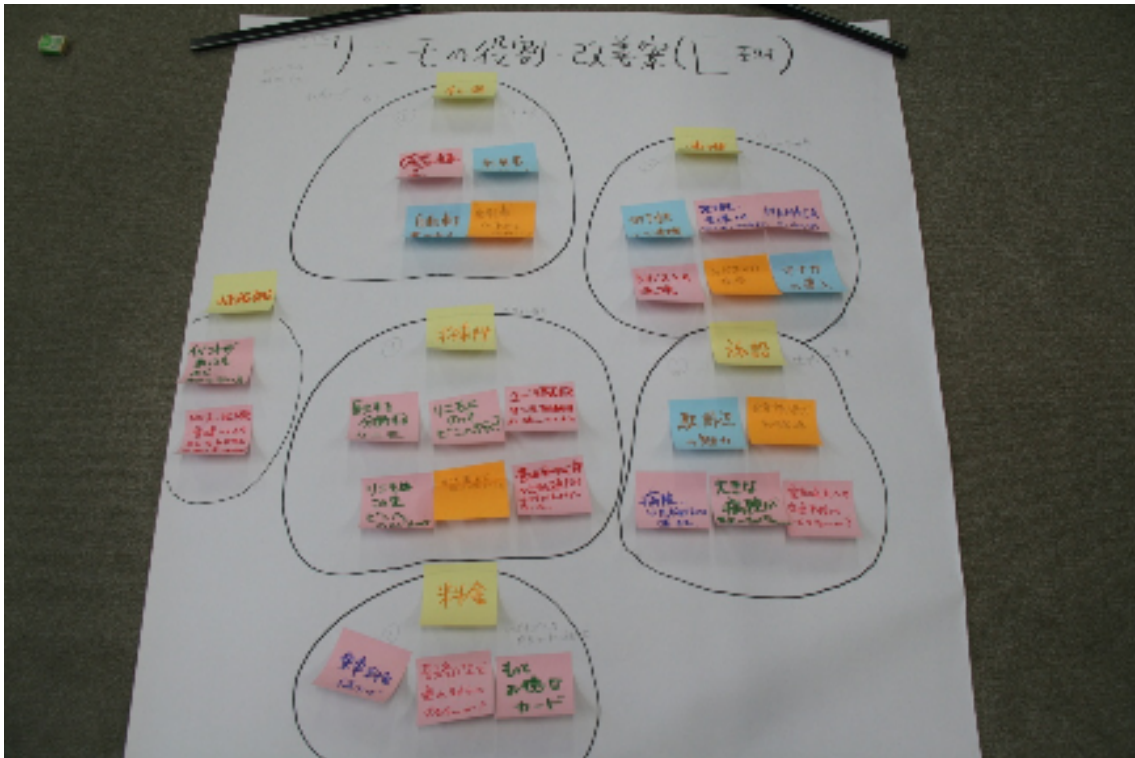
課題として、他の交通手段との連携がもっとスムーズにいくといいかなと思います。

グループD



- ・観光と環境…駅から降りてすぐ里山や森などの自然がある。景色を楽しめる。
 - ・リニモのアイデンティティ…子供のアミューズメントの場。日本初の浮上式リニアモーターカー。
 - ・QOL（生活の質）を高める存在…犯罪抑制、交流の場、移動手段
- これらをまとめ、テーマをマイレール・リニモではなく、私たちのリニモ、「OUR レール・リニモ」とした。

グループE

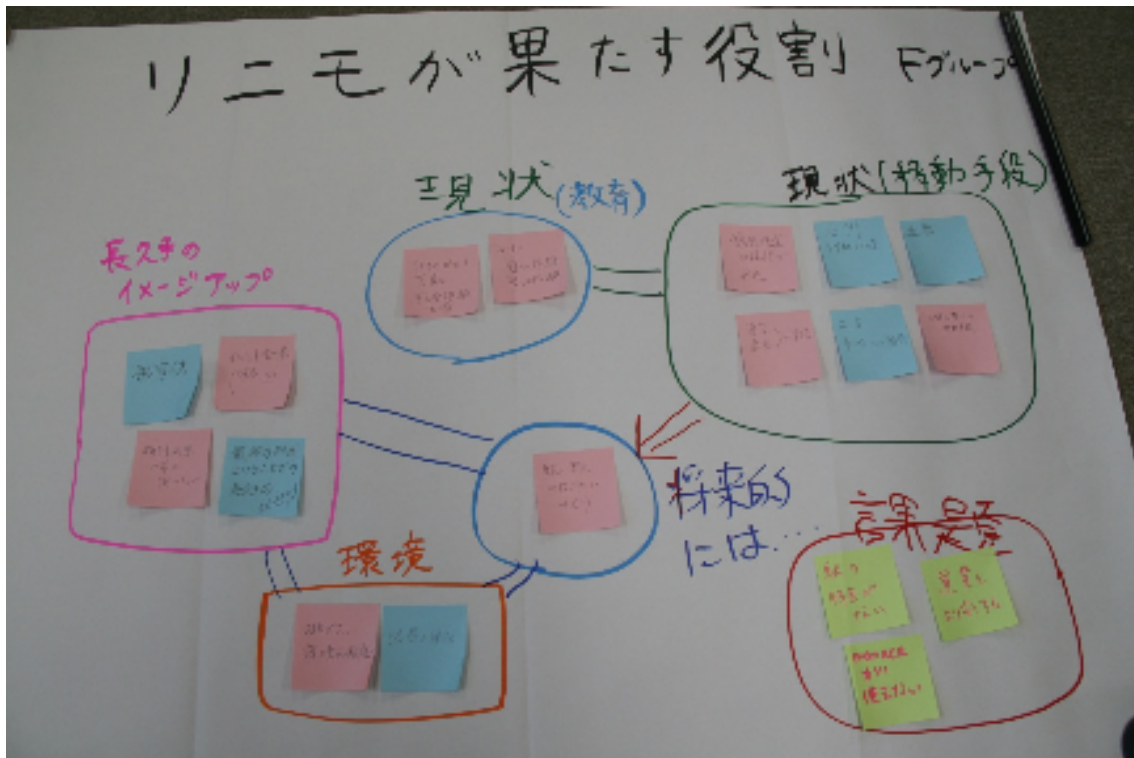


長久手市が発展するための、リニモの改善案をまとめた。

- ・将来性…リニモ自体にもっと魅力を持たせたいが。将来的な画が具体性に欠ける。
- ・利便性…例えば駅の近くに病院があれば活性化するのでは。施設の充実ということ。
- ・ソフト・ハードの整備…Nバスとの連携、ICカードの利用を可とするなど
- ・利用のPR…例えば自転車でも乗り込めるようにするなど、通学・通勤のバランス。学生中心の利用で学校の休みには利用者が減る。情報の発信ということで、学生とコラボしてイベントをしているが、みんな実際にはあまり知らない。行き届いていないのでは。
- ・料金…もっとリーズナブルで使いやすい価格設定を。赤字が多いのはわかるが、他の交通機関に比べてやはり高い。

このあたりをまとめるとより良い方向に向かっていくのでは。

グループF



- ・ 現状…通勤や通学で使われている、モリコロパークへの移動手段・名古屋、豊田方面への移動手段。
 - ・ 教育…子どもが社会体験をするための場
 - ・ にぎわいの創出…駅ができれば施設や人が集まる
 - ・ 環境…多くの人を一度に運べるので、排ガスが少ない。渋滞の緩和。
 - ・ 長久手のイメージアップ…鉄道としての魅力を活かした連携
- 最後に課題として、manaca が使えないこと